



▶ 4月13日に行われた40周年記念式典で
受賞された方々



和主義・ご都合主義が国連の常任理事国入りを巡って問われることになるかもしれません。そのためには、日本は将来に向けた確固たる国家理念を打ち

立て、世界に明らかにしていく必要があります。選挙制度が変わり、政界再編が進む中であって、大切なことは数や目先の論議ではなく、将来を見据えた議論が何よりも肝要であり、国民の選択もこの一点に重点を置くべきだと考えます。

景気の回復は引き続き依然として不透明で、今年も苦難が続くそうではありますが、それぞれの分野で忍耐と努力をもって乗り切っていく覚悟が必要でありましょう。

当町にとって今年は、大型事業が一段落をし、財政調整の年に当たると同時に、平成八年度を初年度とする新総合計画を策定する時期にあたります。

この計画は二十一世紀をつなぐ重要な意味をもつことから、より冷静に、より広く情報を集め、今後の経済動向を探りながら夢のある有効な政策を盛りこんでいきたいと考えております。このようなことから、今年は将来をじっくり思考する一年になりそうであり、またそれを意義あるものにしていかなければならぬと思います。

町民の皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

スポーツ両面で、五年後に迎える二十一世紀に誇れる光しおさい公園、光文化の森公園が竣工致し、四月と七月にオープンしたテニスコート、温水プール等々順調にスタートしました。

団の選手によって実現されたことです。八月十三日から、四国愛媛県で行われた第十六回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会で持てる力を十分発揮して、全国の強豪を打ち破って優勝。

文化の殿堂として図書館も十一月に町内外から大きな期待の中で開館し、当町規模の自治体としては、内容環境とも日本有数との事、早くも予想を上回る入館者があり、近い将来その実が上がるのが楽しみです。

祝賀会での選手のはにかみながらも全国の頂点に立った自信に満ちた姿は、頼もしくもありました。選手が言ったように近い将来、プロ野球の選手として大いに活躍し、私達を楽しませてくれると期待しております。



オープン前に図書館を見学する広報通信員のみなさん

今一つ記憶に新しい事は、「ヤッター日本一」スポーツの町光町に夢のような全国制覇が東陽スポーツ少年

今年も、明るい話題の多い広報紙となりますことと町民各位のご多幸をお祈り申しあげご挨拶と致します。

政治も大きな変遷の年であり、かつて五十五年体制と言われ、イデオロギーにより保守、革新とで競い合った自民党と社会党が連立内閣を組み、野党も共産党を除き、右も左もそして中道も、新・新党の御旗の下に参集し、新進党として船出をしました。東西冷戦の終結が日本の政治の流れを大きく変えるキッカケとなり、今にして思えば政治家川島正次郎の「政治は一寸先は闇だ」との言葉が思い起こされます。